

令和 5 年度活動報告および令和 6 年度事業計画書

発行：一般社団法人医療サイバーセキュリティ協議会 理事会

作成：常任理事・副理事長 鈴木克明

令和 6 年 6 月 16 日

1. 令和 5 年度活動報告

1.1. 活動概況

令和 5 年度は、一般社団法人としての医療サイバーセキュリティ協議会の第 2 年度でした。厚生労働省が様々な取り組みを実施したことに加え、医療サイバーセキュリティリスク認識が広がったことにより、認知度も向上し、それに沿う形で会員数も大幅に増加(会員数 18 法人 (前年比 450%)、活動登録メンバー 143 人)することができた。

- 以下のように、当協議会の公共・非営利活動の社会認知が広がったことが確認できる。
 - Microsoft から非営利団体向けの許可と割引を承認されました 2023/12/27
 - Google より、一般社団法人医療サイバーセキュリティ協議会の非営利運営確認が完了し、Google for Nonprofits | 非営利団体向けプログラムの対象になりました 2024/1/13
 - 厚生労働省が補正予算で事業化した医療機関に対するサイバーセキュリティ調査事業で、落札した NTT 東日本から、アドバイザーを依頼された。 2024/3/28

1.2. 役員構成の変更

- 千葉大学医学部附属病院（当時）の島井健一郎さんが理事に就任しました。 2023/6/2
- グローバルセキュリティエキスパート株式会社の三木剛さんが理事に就任しました。 2024/2/1

1.3. 令和 5 年度活動

1.3.1. イベント事業

- 1.3.1.1. 第 11 回医療サイバーセキュリティ協議会 会場：オリンパス新宿、トレンドマイクロ大阪、オンライン 2023/6/2

1.1.1.1.1. 第 1 回 医療サイバーセキュリティセミナー

0 講演

「医療機器のサイバーセキュリティ導入に関する手引書」と「医療機関における医療機器のサイバーセキュリティ確保のための手引書」の要

点解説

日本光電工業株式会社 松元恒一郎様

1.1.1.1.2. 第 1 回社員総会

◇	審議事項		
	千葉大学医学部附属病院（当時） 島井健一郎氏の理事就任		承認
	令和 5 年度事業計画		承認
1.3.1.2.	第 12 回医療サイバーセキュリティ協議会	会場：オリンパス新宿、オンライン	2023/7/7

1.1.1.1.3. 第 2 回 医療サイバーセキュリティセミナー

I. 講演

「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」第 6.0 版への改定の読み解き
～「医療機関における医療機器のサイバーセキュリティ確保のための手引書」にも触れながら～

医療サイバーセキュリティ協議会 島井健一郎理事

II. パネルディスカッション

質疑及び議論

モデレーター

群馬大学医学部附属病院・医療サイバーセキュリティ協議会 鳥飼幸太常任理事

パネリスト

奈良先端科学技術大学院大学 門林雄基様

徳島大学病院 田木真和様

日本光電株式会社 松本恒一郎様

千葉大学医学部附属病院（当時）・医療サイバーセキュリティ協議会 島井健一郎理事

1.3.1.3. 第 13 回 医療サイバーセキュリティ協議会

会場：関西国際大学、オンライン 2023/9/8

1.1.1.1.4. 第 3 回 医療サイバーセキュリティセミナー

I. 講演

「主要な脆弱性の情報解説」

株式会社ラック 又江原恭彦様

II. パネルディスカッション

「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」第 6.0 版への改定の読み解き

～我々で作上げていくガイドライン～

モデレーター

千葉大学医学部附属病院（当時）・医療サイバーセキュリティ協議会 島井健一郎理事

群馬大学医学部附属病院・医療サイバーセキュリティ協議会 鳥飼幸太常任理事

パネリスト

徳島大学病院 病院情報センター 田木真和様

大津赤十字病院 橋本智広様

大阪急性期・総合医療センター 森藤祐史様

デロイト・トーマツサイバー合同会社 縣和平様

1.3.1.4. 第 14 回 医療サイバーセキュリティ協議会

会場：京都大学、オンライン 2023/12/22

I. 基調講演

「医療サイバーセキュリティの全体の底上げのために」

京都大学 医学部附属病院 黒田知宏様

II. 講演

「HIMSS INFRAM IT インフラストラクチャの能力と成熟度の評価（仮）」

シスコシステムズ 若村友行様

III. 講演

「医療機関向けのサイバー保険（仮題）」

損保ジャパン株式会社 山本 佳史 様

IV. 講演

「医療サイバーセキュリティのあるべき姿（仮題）」

NPO 法人関西健康・医療学術連絡会 落合正晴様

V. 講演

「セキュリティ人材の育成と活用（仮題）」

トレンドマイクロ株式会社/一般社団法人医療サイバーセキュリティ協議会 松山征嗣常任理事

VI. 講演：

「医療機関のあるべきリスク管理体制および当社のサービス内容について」

デロイト・トーマツ・サイバー合同会社 縣 和平

デロイト・トーマツ・サイバー合同会社/一般社団法人医療サイバーセキュリティ協議会 鈴木克明常任理事

VII. パネルディスカッション

「討論：医療サイバーセキュリティの全体の底上げのために」

モデレータ 黒田知宏様、鳥飼幸太

パネリスト あいおいニッセイ同和損保 神山太郎様、他発表者の方々

1.3.1.5. 第2回臨時社員総会 2024/1/10

I. 審議事項

公益認定取得のための定款変更 (賛成 20、議長委任 8) 可決

変更の要点

- 法人の目的、事業を公益事業としました。
- 公益事業は日本全国に対して提供します
- 社員総会の社員の定義を、各法人会員からの代議員と、個人会員から選ばれる代議員しました
- 法人会員、個人会員を区別しました新理事就任について（新理事のプロフィールを資料2に添付する）

II. 審議事項

本協議会前身であるMDCSC共同発起人である三木剛様（グローバルセキュリティエキスパート株式会社常務取締役）の理事就任について。 (賛成 21、議長委任 7) 可決

目的

- NPO 法人関西健康・医学術連絡会との共同事業などの推進のリードを行う目的

1.3.2. その他の活動

- 医療サイバーセキュリティに関する有償セミナーの開催
- 筑波記念病院のサイバーセキュリティ成熟度向上支援準備
- 大学病院での医療サイバー人材育成の枠組み構築
- 協議会を通じた会員に対するサイバーセキュリティ教育・啓発
- NPO 法人 関西健康・医学術連絡会との提携

2. 令和 5 年度収支報告

エラー! 参照元が見つかりません。、エラー! 参照元が見つかりません。、エラー! 参照元が見つかりません。、エラー! 参照元が見つかりません。及び表 6 に示された財務諸表の通り決算が行われた。

表 1 貸借対照表（単位：円）			
令和 06 年 3 月 31 日現在			
資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	1,723,593	【流動負債】	1,368,228
現金及び預金	1,662,833	未払金	303,228
売掛金	60,760	未払費用	780,000
		未払法人税等	70,000
		前受収益	215,000
		負債の部合計	1,368,228
		純資産の部	
		科目	金額
		【株主資本】	355,365
		利益剰余金	355,365
		その他利益剰余金	355,365
		繰越利益剰余金	355,365
		（内、当期純利益）	345,769
		純資産の部合計	355,365
資産の部合計	1,723,593	負債・純資産の部合計	1,723,593

表 2 損益計算書（単位：円）		
自 令和 05 年 04 月 01 日		
至 令和 06 年 03 月 31 日		
科目	金額	
【売上高】		
経常収益	1,690,090	1,690,090
【売上原価】		
売上総利益		1,690,090
【販売費及び一般管理費】		1,344,325
営業利益		345,765
【営業外収益】		
受取利息	4	4
【営業外費用】		
経常利益		345,769
【特別利益】		
【特別損失】		
税引前当期純利益		345,769
当期純利益		345,769

表 3 販売費及び一般管理費内訳書（単位：円）		
自 令和 05 年 04 月 01 日		
至 令和 06 年 03 月 31 日		
科目	金額	
【販売費及び一般管理費】		
委託費	660,000	
接待交際費	35,680	
旅費交通費	54,349	
通信費	101,800	
備品・消耗品費	5,658	
地代家賃	120,000	
租税公課	90,000	
支払手数料	210,330	
会議費	54,508	
雑費	12,000	
販売費及び一般管理費合計		1,344,325

表 4 収益内訳書（単位：円）		
自 令和 05 年 04 月 01 日		
至 令和 06 年 03 月 31 日		
科目	金額	
【会費】		
A 会員	200,000	
B 会員	1,415,000	
【事業収益】		
セミナー代	75,090	
収益合計	1,690,090	

表 5 株主資本等変動計算書（単位：円）			
自 令和 05 年 04 月 01 日		至 令和 06 年 03 月 31 日	
			金額
株主資本			
利益剰余金			
その他利益剰余金			
繰越利益剰余金	当期首残高		9,596
	当期変動額	当期純利益	345,769
	当期末残高		355,365
株主資本合計			
	当期首残高		9,596
	当期変動額		345,769
	当期末残高		355,365
純資産の部合計			
	当期首残高		9,596
	当期変動額		345,769
	当期末残高		355,365

表 6 株主資本等変動計算書

3. 令和6年度事業計画および予算

3.1. 収入

3.1.1. 会費収入の見込み 2,000,000 円

- 令和6年度中の会員数は、医療施設3院、医療機器ベンダー20社、活動登録メンバー数160名を見込む。
- 医療機関の加入は、医師に対する認識の向上が必要となる。東京は私立大学病院を中心に会員勧誘を行い、医局での認識の広がりを期待する。
- 簡単な当協議会の認知を高めるためのピラを作成する。

3.1.2. 寄付

- 令和5年度中に寄付はありませんでした。
- 令和6年度には、公益認定の申請が予定されており、公益社団法人として認められれば、寄付には税優遇が与えられるため、寄付の獲得が期待できる。

3.1.3. 営利事業

- セミナーの有償参加費 50,000 円
- 厚生労働省のセキュリティ事業のアドバイザー費用 1,000,000 円

3.2. 支出

3.2.1. 法人支出

3.2.1.1. 事務局運営費用

- 株式会社キャストの“My Assistant”サービス（月10時間）に加入し、協議会の告知、参加登録、出席確認、名簿作成などの業務を委託予定。 330,000 円
- 事務局運営として、常任理事の役務工数20日分(51,400 円/日) 1,028,000 円

3.2.1.2. 病院訪問

- 医療サイバーセキュリティの啓発及び協議会の認知向上のため、3〜4名体制で病院を訪問します。東京の私立大学病院10院、関西の公立病院2院、その他の病院3院を予定。
- 首都圏交通費は3名10回訪問で3,000*10*3=90,000 円、関西交通費は、2名2回訪問で、100,000 円、訪問理事・顧問の役務工数として3名*3H*10 回（578,250 円）+2名*2D*2 回(206,800 円) 975,050 円

3.2.1.3. 連携活動

- NPO 法人関西健康・医療学術連絡会との連携打ち合わせのための費用、交通費として 100,000 円
- 協議会開催が関西開催を2回予定、関西交通費、2名2回 100,000 円

コメントの追加 [鈴理1]: 予算に対し、公益認定移行を来期中にするなら、いずれにせよ予算を内閣府に毎年提出する必要があるため、公益会計基準に対応した形式のもので作成をするのがベストかと思います。齟齬と事務処理軽減のため。

コメントの追加 [克2R1]: 公益会計基準の用語教えて

コメントの追加 [3R1]: 用語という点では、株主資本等変動計算書はないので、事業計画書と収支予算書という形で作ることになると思う。 今回の決算に必要なのは、（・事業報告書）・貸借対照表・正味財産増減計算書・監査報告書 今後公益社団として必要なのは、・事業計画書・収支予算書（公益社団法人認定申請書類にある別表Gを元に作成する様子）・申請認定手続にあるように業態に見合った別表と会社情報 今期のうちに認定された場合に、毎年提出する書類のテンプレをまずは確認してください。 > 公益財団法人 公益法人協会 の Web ページがわかりやすいので、一度構成を見てみてください。 提出書類は似たようなものになると思います。

3.2.1.4. 経理委託費		
• 月次経理処理委託 25,000*12		300,000 円
• 決算時経理委託		100,000 円
• 決算時税理士報酬		150,000 円
3.2.1.5. その他		
• 新任理事登記費用として（登記費用、手数料含む）		50,000 円
• 協議会本部事務所家賃按分 5,000 円*12		60,000 円
• 配信機器購入費用		50,000 円
• その他雑費		50,000 円
3.2.2. 非 営 利 事 業 ¹		
3.2.2.1. 医療サイバーセキュリティ人材開発事業		
医療ワークフローを理解するサイバーセキュリティ責任者（医療サイバースリスクコントローラ/医療 CISO）・管理者(医療 CISO 補佐)・運用者の育成及び、登録認定、人材の派遣・紹介を行う。		
• サイバー人材育成をになってくれる協力大学病院を獲得し、また、育成事業の協力ベンダーを募集するなど、多くの人材を育成できる環境をつくる。		
• 医療ワークフローを理解するサイバーセキュリティ責任者（医療サイバースリスクコントローラ/医療 CISO）・管理者(医療 CISO 補佐)・運用者の育成及び、登録認定、人材の派遣・紹介を行う。		
• サイバー人材育成を担う協力大学病院を獲得し、また、育成事業の協力ベンダーを募集するなど、多くの人材を育成できる環境をつくる。		
• 交通費		100,000 円
• 雑費		30,000 円
3.2.2.2. 医療機関支援事業		
医療機関やサプライヤーに対するサイバーセキュリティ関連の支援事業		
• 筑波記念病院のサイバーセキュリティ支援の監修を行う。これ以外にも要望に応じてサイバースリスクのやる気がある病院の支援を行う。		
• NPO 法人 関西健康・医療学術連絡会との提携を行い、関西の 7 府県にある急性期病院、地域拠点病院への支援の提供を行う		
• 医療施設への支援については、事業化を行ったため、公 2 事業で間接費として支援施設に請求を行う。		
• 雑費		30,000 円
3.2.2.3. イベント事業		
セミナー・講演会・イベントの主催・共催・後援を行う。		
• 医療機関、医機製販業におけるサイバーセキュリティ対策やリスク制御に有用なインテリジェンスやベストプラクティスの共有		
• サイバーセキュリティ啓発・意識向上、様々なサイバーセキュリティに関する演習、議論、訓練		

¹ 公益認定が降りた場合は公益事業となります。

- 本法人の理念、目的や事業の周知や広報
- その他、医療サイバーセキュリティに関する目的
- 医療サイバー協議会の開催
- 各種セミナーの開催
- 配信機器購入 50,000 円
- 会場費 100,000*4= 400,000 円
- 講演者謝金 30,000*4*2= 240,000 円

3.2.2.4. コミュニケーション基盤提供事業

医療機関、病院内システムベンダー、Sier、医機製販業などのサプライヤー、セキュリティベンダーなど医療業界全体を通したサイバーセキュリティ情報（脆弱性や攻撃者情報など）の共有

- Youtube/X/Facebook への公式チャンネル作成
- 医療機関、病院内システムベンダー、Sier、医機製販業などのサプライヤー、セキュリティベンダーなど医療業界全体を通したサイバーセキュリティ情報（脆弱性や攻撃者情報など）の共有
- Microsoft365 サービス費用管理者のみ 5000 円*1 人*12 ヶ月 60,000 円
- 協議会 Web ページ維持費用として 1500 円/月*12 ヶ月 18,000 円
- インターネットドメイン維持費用として 2100 円/年*3 6300 円

3.2.2.5. セキュリティ認証事業

医療機関に機器を設置する医療機器ベンダーなどのサプライヤーが、リモートメンテナンスなどの保守作業を行う場合のセキュリティ認証制度の運用

- 認証を行う上でのセキュリティクライテリアの開発
- 提携ベンダー獲得
- 官公庁からの認定獲得
- 医療機関に機器を設置する医療機器ベンダーなどのサプライヤーが、リモートメンテナンスなどの保守作業を行う場合のセキュリティ認証制度の運用
- 認証を行う上でのセキュリティクライテリアの開発
- 提携ベンダー獲得
- 官公庁からの認定獲得
- 雑費 100,000 円

3.2.2.6. 表彰事業

医療サイバーセキュリティに対して、著名な活動を行った人物・組織・システムなどに表彰を行う。

- システムの文章化と周知
- 医療サイバーセキュリティに対して、著名な活動を行った人物・組織・システムなどに表彰を行う。

- システムの文章化と周知
- 記念品制作費 100,000 円
- 雑費 100,000 円

3.2.2.7. 技術開発及び研究事業

医療機関がサイバーセキュリティリスクを制御し、システムにレジリエンスを獲得するため、また、医療 DX に対応できる組織・システムづくりには様々な課題があり、それらを解決する最適な手法・技術を研究開発する。また、研究開発委託先に、研究開発資金を提供する。

- NPO 法人 関西健康・医療学術連絡会との提携により、病院のサイバーセキュリティ支援、脆弱性マネジメント及びリスク可視化システム構築（外部委託）
- 医療機関がサイバーセキュリティリスクを制御し、システムにレジリエンスを獲得するため、また、医療 DX に対応できる組織・システムづくりには様々な課題があり、それらを解決する最適な手法・技術を研究開発する。また、研究開発委託先に、研究開発資金を提供する。
- NPO 法人 関西健康・医療学術連絡会との提携により、病院のサイバーセキュリティ支援、脆弱性マネジメント及びリスク可視化システム構築（外部委託）
- 関西の病院めぐりの交通費 80,000 円*10 回= 800,000 円